

港区立青山小学校
令和6年度 1年生授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<p>① 言葉の使い方や文の組み立てを理解するとともに、平仮名や学習した言語事項を適切に活用し、自分が表現した文中で正しく表記する。</p> <p>② 伝えたい事柄や状況に応じて声の大きさを考えて話すとともに、話を最後まで聞き、内容を捉えることができる。</p>	<p>① 単語や文中において、平仮名や促音、助詞を正しく使って書くことがまだ定着していない。</p> <p>② クラス全体やペアなど状況に応じて声の大きさを考えて話すことが苦手な児童がいる。また、話を最後まで集中して聞くことが難しい児童、途中で口をはさんでしまう児童がいる。</p>	<p>① 日常的に単語を視覚化して繰り返し指導する。また、授業の中での文づくりや日記で活用できるようにする。</p> <p>② 話す前に声の物差しの掲示を活用して、場に応じた声の大きさを意識付ける。また、ペアやグループ、全体など話す場を設定して話し、聞いたことを他に伝えるなど内容を聞き取る機会を設ける。</p>

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	<p>① 個数の数え方を理解し、加法や減法の計算を数の構成を使ったり、操作したりして行うことができる。</p> <p>② 数量の関係に着目して減法の意味や計算の仕方を考える力を養うとともに、減法の計算の仕方を操作や式に表すことができる。</p>	<p>① まとまりで数を捉えたり、正しく数えたりするのが難しい児童がいる。また、具体物がないと10までの加法や減法の計算が難しい児童も見られる。</p> <p>② 文章題での場面の理解や、減法の求差(違いを求める)場面の意味理解が難しい。</p>	<p>① 10までの数の構成を理解し、数感覚を豊かにするようなフラッシュカードを授業の導入に取り入れ繰り返し行う。</p> <p>② 場面を正確に捉えられるように提示を工夫し、ブロック操作や図などの操作活動を通して立式できるようにする。</p>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
生活	<p>① 身近な人々や植物に関心を持ち、分かったことや気付いたことを工夫して表現したり、伝えたりすることができる。</p>	<p>① 植物に関心を持ち、気付いたことを適切な表現で工夫して表すことができる児童と、教師との対話が必要で自分では表現が難しい児童がいる。</p>	<p>① 絵や文、動作化など多様な表現方法を指導するとともに、自分が表現できる方法を選ぶようにする。また、自分が表現したいことをペアで話したり、全体で共有したりすることで、表現が広がるようにする。</p>

体育	育成を目指す資質・能力	新体力テスト、学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	① 楽しみながら運動や用具の操作を行い、友達と協力しながら運動に取り組むことができるようにする。	① 経験の少なさから体の動かし方が分からなかったり、協力して運動に取り組んだりすることが難しい児童がいる。	① 用具の操作をスモールステップで行い、できる活動を増やしていくことで運動に興味を持ち、経験を増やせるようにする。また、ペアやグループで取り組むことで共に学ぶことができる場を設定する。

国際	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	① 外国語の表現に関心を持ち、楽しくコミュニケーションをとろうとする。	① すすんで発音したり、活動に積極的に取り組んだりする児童が多いが、すすんでコミュニケーションを行えない児童もいる。	① 新しい外国語の表現を指導する際は、数を絞って提示し、繰り返し発音できるようにする。また、ゲーム等の楽しい活動の中で発音や、コミュニケーションを図れるようにする。

道徳	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	① 善悪の正しい判断を行うとともに、自分の生活を振り返り、日常生活に活かしていこうとする。	① 善悪の判断はできる児童が多いが、実際の行動と結びついていないことがある。また、場面をしっかり捉えることが難しく、ねらいに沿った考えに及ばないことがある。	① 場面を正しく理解して想像し、自分事として捉えられるよう課題の提示を工夫する。また、学習のめあてを明確にし、自分の考えをもてるよう問いを精選して授業を行う。自分の生活と結び付けて振り返りができるような場を設定する。

特別活動	育成を目指す資質・能力	学級活動、学校行事等の課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	① 学級のための役割に自分から気づき、すすんで活動する。	① 当番の役割が分かって、すすんで取り組むことができる児童もいるが、自分の欲求を優先して役割が後回しになっている児童もいる。	① 学級全体の場で、よい行動の価値付けを行うとともに、学級みんなで取り組む活動について話し合いを行う。また、実践して振り返ることで、自ら協力する大切さを実感できるようにする。